



くりはら はると
栗原 遼大 さん

●船津川小学校6年
**プロ野球選手に
なりたい**

ぼくの将来の夢は、プロ野球選手になることです。

ぼくは、2年生から野球を続ける中で、「最後まであきらめない心」と「仲間の大切さ」を学びました。野球の試合で勝ったときの喜びや負けたときの悔しさを胸に、一試合でも多く勝てるように自分の夢に向かって努力をしています。

これからも、一生懸命練習をして野球のすることについて学び、みんながあこがれるようなプロ野球選手になりたいです。



毎日・複数の投票を
お願いします！！

さのまる はっしん。

ブランドキャラクター「さのまる」がゆるキャラ(R)グランプリ2013に出場しています。

昨年は第4位でしたが、今年は第1位を目指しています。

【投票方法】

- ①携帯電話、スマートフォン、パソコンなどインターネットに接続できる環境を用意してください
- ②ゆるキャラ(R)グランプリ2013のホームページ (<http://www.yurugp.jp/#open01>) から、お持ちのEメールアドレスとパスワード(任意)を登録してください
※携帯電話の方は右のQRコードから
(携帯の方はパスワードなど登録は不要です)
- ③さのまるを探して「このキャラクターに投票する」ボタンをクリックして、投票完了です！
※投票は1日1回ですが、Eメールアドレスが複数あればその数だけ投票できます



携帯電話用



今回の表紙「さのまるの出陣式」9月14日撮影

道の駅どまんなかたぬまで、佐野ブランド広報活動推進委員会、ふるさとさのまる応援団、さのまる応援隊、さのまるに愛隊会員を招いた、佐野ブランドキャラクター「さのまる」のゆるキャラ(R)グランプリ2013への出陣式が開催されました。

同グランプリは11月8日まで開催され、さのまるは第1位を目指します。
さのまるへの投票にご協力ください。



せきかわ りか
関川 理香さん
 (大橋町)



○プロフィール

昭和44年3月生まれ。ママさんソフトボールチームである「天明ソフトクラブ」立ち上げに携わる。佐野市ソフトボール協会・審判部に所属。日本ソフトボール協会第1種審判員として活躍中。



「やりたいこと」は必ず見つかる

ボールの大きさ(円周)は12インチ(約30cm・一般用)。野球より大きいボールを用い、3分の2ほどの広さのグラウンドで1チーム9人で行う「ソフトボール」。そんなソフトボールの魅力は「子どもからお年寄りまでプレイできる。チームで取り組む競技だから、つながりも深まるし、幅広い年代の方たちと交流を持てる」ところだ。関川さんは話します。

関川さんがソフトボールの審判員になって今年で10年目。地元の実験試合から全国大会まで、年間100以上の試合の審判をします。

ソフトボールに出会ったのは、小学校4年生のころ。町内会のチームに入ったのが始まりだと話します。中学以降しばらく離れていましたが、近所の方に誘われた市民体育祭への出場がきっかけで再開。お嬢さんも学童チームでソフトボールを始め、「最初に審判をやるようになったのは、学童のお手伝いって感じだったかな」とのこと。



1塁塁審を務める関川さん(左)

「自分たちのジャッジで試合が決まるから、責任が重いし、選手の時よりも緊張するね」ルールは毎年改定され、試合中はずっと中腰の姿勢、野手が取り損ねたボールが当たってアザができる。「自分が選手だった時には、審判員の大変さなんて全然考えたことがなかった」「それでも、30歳を過ぎたから見つけた『やりたいこと』だから頑張れる。家族や周りの方からの励ましも、支えになっている」と笑顔で語ってくださいました。

選手が熱くプレイする傍らに、試合を冷静に見極める審判がいて競技が成り立っています。今後の関川さんのご活躍を期待しています。

市長からの

メッセージ



先月から各地域で敬老会が開かれています。高齢者の皆さんの元気な姿を見ると嬉しく感じます。今年、100歳以上の市民の方は50人、うち男性が7人、女性が43人です。日本が高齢社会になって久しく、社会保障の問題など議論の多いところですが、長寿は私たちにとって永遠の願いです。長寿の秘訣を伺いますと、多くの方が、腹八分目の食事、くよくよしない、怒らない、感謝する、といったお答えです。なかなかできないことですが心がけたいものです。さて、本市のブランドキャラクター「さのまる」が、ゆるキャラグランプリ2013にエントリーしています。昨年は4位と大健闘しましたが、今年は皆さんの力で、ぜひとも第1位を勝ち取りましょう。

なぜ「さのまる」を推進するのか。経済効果ばかりに目が行きがちですが、本来の目標は市民の一体感を高めることにあります。私も毎日投票しています。11月8日の投票終了まで、最後まで頑張りましょう。

今年12日、13日は「田中正造翁没後100年記念祭」が開催されます。演劇「天地と共に」田中正造を生きる」のチケットも残りわずかです。100年に一度の機会です、ぜひお見逃しなく。没後百年顕彰事業を飾る2日間、市民全体で盛り上げていきましょう。

2020年の東京オリンピック開催が決まりました。スポーツ立市を推進しようとしている本市にとっても追い風になります。夢と希望と勇気を与えてくれるスポーツ、健康増進のためにも身近な運動から取り組んでみてください。

岡部 正英

